

泌尿器科

1. 概要

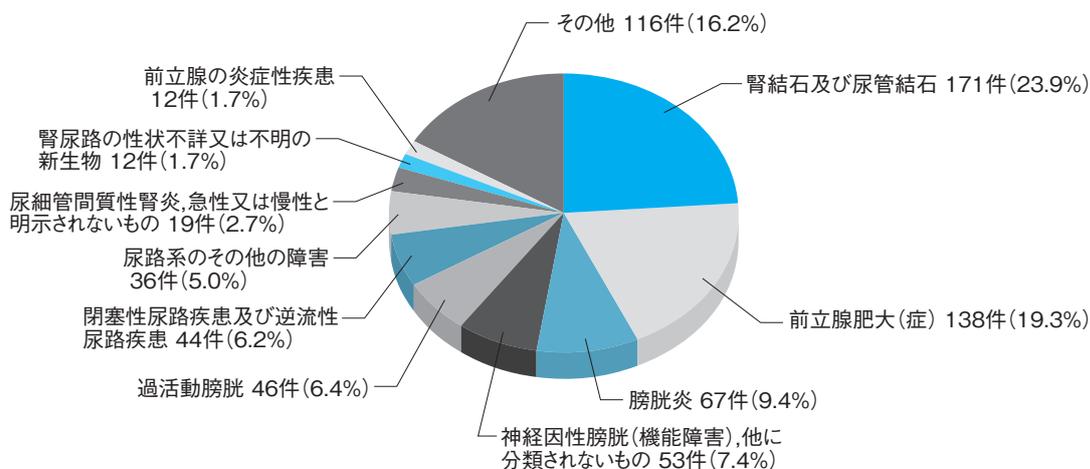
2017年、人員的にはこれまでで最も充実した体制で始まった。しかしながら、東三河地区における当院への一極集中状況はそれを上回る勢いであり、繁忙の程度は増すばかりである。当科の柱である泌尿器悪性腫瘍に対する小切開手術は、長井を中心に高水準を維持し、小嶋、寺島両副部長が柱となって腹腔鏡手術も増加している。ロボット支援手術は前立腺悪性腫瘍手術の標準的な手術の地位を占めるに至り、腎癌に対する腎部分切除も開始される等、当科における日常的な手術の一つとなった。一方、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤等の新規薬剤を含むがん化学療法の症例も増加の一途をたどり、山本医長を中心にこの分野においても愛知県のトップランナーとなっている。良性疾患に対しては、複数の職種からなる排尿ケアチームが立ち上がり、病院全体の排泄管理の向上に向けた活動が充実し始めた。結石に対する内視鏡治療等一般泌尿器科診療を含め、さらなる高みを目指し続けた一年であった。

(第一部長 長井 辰哉)

2. 新規登録疾患

(1) 悪性新生物以外

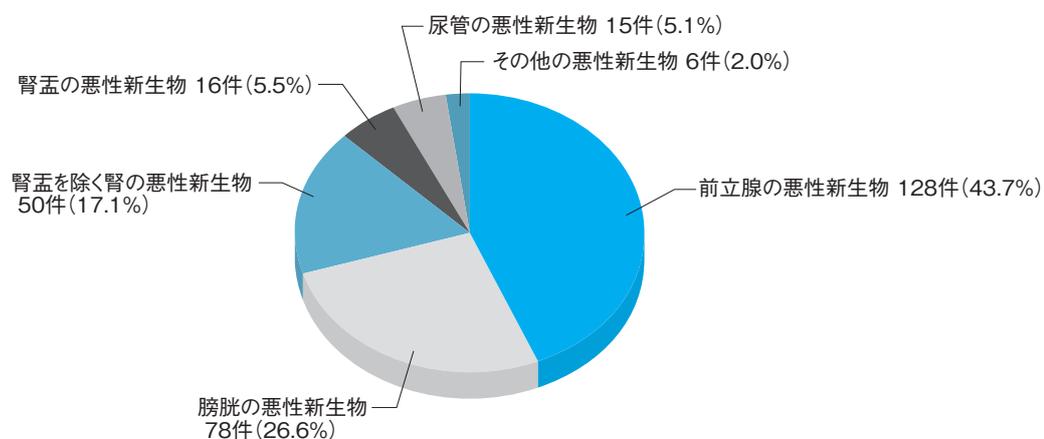
総数：714件



| 疾患名 | 主となるICD-10病名 | 件数(件) | ICD-10 |
|---------------------------|---------------------------|-------|--------|
| 腎結石及び尿管結石 | 尿管結石 | 132 | N201 |
| | 腎結石 | 21 | N200 |
| 前立腺肥大(症) | 前立腺肥大(症) | 138 | N40 |
| 膀胱炎 | 膀胱炎, 詳細不明 | 27 | N309 |
| | 急性膀胱炎 | 22 | N300 |
| 神経因性膀胱(機能障害), 他に分類されないもの | 神経因性膀胱(機能障害), 詳細不明 | 53 | N319 |
| 過活動膀胱 | 過活動膀胱 | 46 | N328 |
| 閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患 | 腎結石性及び尿管結石性閉塞を伴う水腎症 | 17 | N132 |
| | その他及び詳細不明の水腎症 | 13 | N133 |
| 尿路系のその他の障害 | 尿路感染症, 部位不明 | 29 | N390 |
| 尿細管間質性腎炎, 急性又は慢性と明示されないもの | 尿細管間質性腎炎, 急性又は慢性と明示されないもの | 19 | N12 |
| 腎尿路の性状不詳又は不明の新生物 | 腎尿路の性状不詳又は不明の新生物, 腎 | 10 | D410 |
| 前立腺の炎症性疾患 | 慢性前立腺炎 | 6 | N411 |
| | 急性前立腺炎 | 4 | N410 |

(2) 悪性新生物

総数：293件



| 疾患名 | 主となるICD-10病名 | 件数(件) | ICD-10 |
|--------------|--------------------|-------|--------|
| 前立腺の悪性新生物 | 前立腺の悪性新生物 | 128 | C61 |
| 膀胱の悪性新生物 | 膀胱の悪性新生物, 膀胱, 部位不明 | 78 | C679 |
| 腎盂を除く腎の悪性新生物 | 腎盂を除く腎の悪性新生物 | 50 | C64 |
| 腎盂の悪性新生物 | 腎盂の悪性新生物 | 16 | C65 |
| 尿管の悪性新生物 | 尿管の悪性新生物 | 15 | C66 |

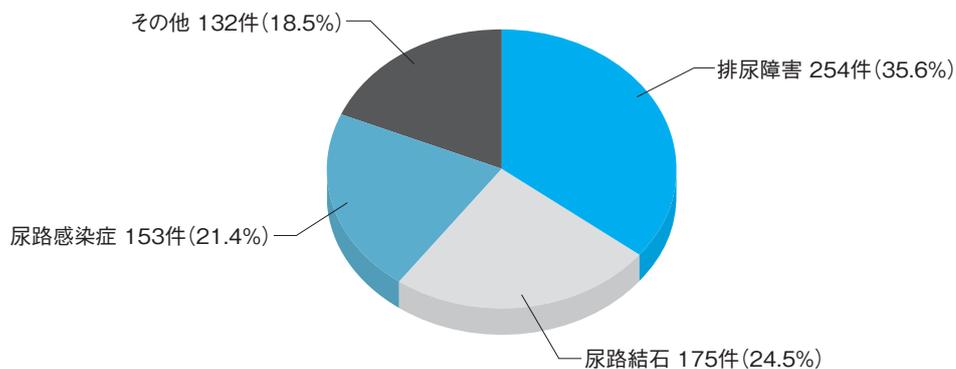
3. 活動報告

(1) 患者状況

| | | | |
|---------|---------|----------|--------|
| 年間外来患者数 | 27,073人 | 年間外来新患者数 | 1,786人 |
| 年間入院患者数 | 13,385人 | 年間入院新患者数 | 1,128人 |

(2) 悪性新生物以外の疾患別頻度

総件数：714件



| 疾患名 | 主となるICD-10病名 | 件数(件) | ICD-10 |
|-------|--------------------|-------|--------|
| 排尿障害 | 前立腺肥大(症) | 138 | N40 |
| | 神経因性膀胱(機能障害), 詳細不明 | 53 | N319 |
| 尿路結石 | 尿管結石 | 132 | N201 |
| | 腎結石 | 21 | N200 |
| 尿路感染症 | 膀胱炎, 詳細不明 | 27 | N309 |
| | 急性膀胱炎 | 22 | N300 |

学会発表（医局）

<泌尿器科>

| No. | 演 題 名 | 区分 | 氏名 | 学会・研究会名 | 開催地 | 発表年月日 | 医師 区分 |
|-----|--|------|-------|------------------|------|------------|----------|
| 1 | 根治的膀胱全摘後の患者における、術後早期経口摂取開始の有益性の検討 | 筆頭演者 | 内藤 祐志 | 第105回日本泌尿器科学会総会 | 鹿児島市 | 2017/4/21 | |
| 2 | ロボットに負けない泌尿器科手術－風圧と、Soft凝固を用いたDVC、前立腺尖部処理 | 筆頭演者 | 内藤 祐志 | 第105回日本泌尿器科学会総会 | 鹿児島市 | 2017/4/22 | |
| 3 | 去勢抵抗性前立腺癌150例に対するエンザルタミドの治療効果と有害事象の検討 | 筆頭演者 | 小嶋 一平 | 第105回日本泌尿器科学会総会 | 鹿児島市 | 2017/4/22 | |
| 4 | 当院における去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミド使用後のアピラテロンの使用経験と治療効果 | 筆頭演者 | 河野 悠 | 第105回日本泌尿器科学会総会 | 鹿児島市 | 2017/4/22 | S |
| 5 | 当院におけるアキシチニブの使用経験 | 筆頭演者 | 寺島 康浩 | 第105回日本泌尿器科学会総会 | 鹿児島市 | 2017/4/23 | |
| 6 | 風圧と、Soft凝固を用いた背静脈群（DVC）、前立腺尖部処理法 | 筆頭演者 | 田中 篤史 | 第30回日本小切開・鏡視外科学会 | 東京都 | 2017/6/2 | |
| 7 | 膀胱ヘルニアを合併した前立腺癌に対してRARPを施行した1例 | 筆頭演者 | 山本 晃之 | 第31回日本泌尿器内視鏡学会総会 | 徳島市 | 2017/11/16 | |
| 8 | 当院におけるTULの治療成績と合併症:アクセスシース挿入を契機に発症した後腹膜血腫 | 筆頭演者 | 小嶋 一平 | 第31回日本泌尿器内視鏡学会総会 | 徳島市 | 2017/11/18 | |
| 9 | 去勢抵抗性前立腺癌に対するカバジタキセルの治療効果予測因子の検討 | 筆頭演者 | 内藤 祐志 | 第67回日本泌尿器科学会中部総会 | 大阪市 | 2017/11/25 | |
| 10 | 進行性腎細胞癌に対するパゾパニブの使用経験 | 筆頭演者 | 寺島 康浩 | 第67回日本泌尿器科学会中部総会 | 大阪市 | 2017/11/25 | |